



たかといちどいだよい



令和7年1月 第111号
たかといちどい保育園

新年 あけまして おめでとうございます

園長 宮田 孝一

令和七(2025)年 乙巳(きのとのみ)が明けました。天候にも恵まれ、穏やかな正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、年末年始になると、来年や今年の干支(えと)が話題になります。年賀状やカレンダー、正月の縁起物にも十二支の動物が描かれます。では、干支はどのように決められているのでしょうか。その仕組みについて、整理してみたいと思います。

今年の干支は?とか、何年生まれ?という話題になると、人は「子丑寅卯辰巳午羊申酉戌亥」の十二種類の動物を思い浮かべます。この十二の動物が干支に選ばれた訳を、子どもの頃に絵本などで読んだ記憶がある方も多いでしょう。でも、干支という字を見ると、この十二支の「支」と「干」という漢字が組み合わされています。この干が、干支とは何かという今回の話の鍵を握っているのです。

干支の「干」は「十干」の「干」で、「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」という昔の中国の一から十までを数える言葉です。この十干に十二支を組み合わせると、60通りの漢字二文字ができます。これが、六十干支です。六十歳になると「還暦」の祝いをしますが、これは、六十干支つまり六十通りの暦を一回りした、すべての暦を生き抜くことができたことを祝う習わしなのです。

ただ、この六十干支の仕組みを理解するには、もう一つ知っておかないといけないことがあります。それは、十干に込められた意味とその読み方です。十干には、「木火土金水」と「兄(え)」「弟(と)」の意味があり、甲は木の兄で「きのえ」、乙は木の弟で「きのと」と読みます。

今年の巳年は、乙巳(きのとのみ)で、六十干支の42番目の年になります。干支の中でも、建物や史実にその名を留めているものも多くあります。阪神タイガースの本拠地であり、全国の高校球児の聖地である西宮市の野球場は、大正十三(1924)年、暦の1番で縁起の良い甲子(きのえね)の年に完成し、名付けられました。旧幕府軍と新政府軍の戦いは、1868(明治元年)年 戊辰(つちのえたつ)の1月に、京都は鳥羽伏見で火ぶたが切られました。

最後に、2023年の我が国の合計特殊出生率(1人の女性が一生のうちに産む子どもの数の指標)が、過去最低の1.20になったとのニュースが話題になりました。出生数も72万7千人で過去最少でした。日本の人口減少はもう止められない、いや今が最後のチャンスだ、と諸説が唱えられていますが、来年は午年、それも60年に一度の丙午(ひのえうま)です。江戸時代に広まったとされる迷信によって、この年は出生数が減少する傾向にあると言われていています。令和の時代には、そのようなことは起こらなかったと、後世に伝えられることを願います。



1月の予定



誕生会	9日(木)	救急訓練	10日(金)
内科健診	16日(木)	避難訓練	17日(金)
発育測定	20日(月)~22日(水)		
保護者会・講演会	25日(土)		
体育あそび	8日(水)・23日(木)		





わんわん
おみ



子どもたちは絵本が大好きです。好きな絵本を見つけると保育士のところに持ってきて、「わんわん!」「にんじん〜」などイラストの名前を言葉で伝えて楽しんで見えています。絵本に出てくる食べ物を友だちと食べさせ合ったり、イラストと同じポーズをしたりなどの可愛い姿も見られます。今後も子どもたちの興味に合った絵本を取り入れたり、季節に関連した絵本を一緒に見たりし、様々な絵本に触れられるようにしていきます。

最近は靴下を一人で脱いだり、ズボンを履きやすいように置いておくと自分で足を通したりなど、身の回りのことを自分でやってみようとする姿が見られるようになりました。一人ひとりの発達に応じて丁寧に誘いかけ、必要に応じて援助しながら一緒に行き、自分でする喜びや満足感を得られるように関わっていきたいと思います。



めろん〜



今月のねらい：保育士の援助のもと、身の回りのことを自分でしようとする



うたうた
おみ



戸外に出ると元気いっぱい身体を動かし、寒さに負けず過ごしています。靴下や靴を履く際に今までは「できないよ。せんせいやって〜」と保育士に甘えていた子どもが「みてみて〜できたよ!」と言い一人で履けるようになってきました。その姿を見て最近「しぶんでする!」と挑戦する子どもも増えてきました。これからも挑戦しようとする姿を十分に認めたり、自分でできた喜びが感じられるようにさりげなく援助をしたりして関わっていきたいと思います。

遊びの中で「〇〇くんいっしょにあそぼう」と気の合う友だちを誘う姿が見られるようになりました。友だちと一緒に遊ぶ楽しさが感じられるよう、今月も一人ひとりの気持ちに寄り添いながら子ども同士の関わりを大切にしていきます。



今月のねらい：保育士や友だちと言葉のやりとりを楽しむ



うたうた
おみ



先月は、『りんごりらっぱ』という子どもたちが大好きな絵本で表現遊びを楽しみました。音楽に合わせて歩き、曲が止まった時に保育士が言うものに変身する遊びで、ゴリラは手を胸を叩いたり、クジャクは手をうしろに広げ大きな羽を表現したりしました。他にも、栗や巻きじゃくなどがでてきて、その表現方法を考える時には、体をいっぱい使ってのびのびと表現をすることを楽しんでいました。今後も、様々な絵本を読み、子どもたちが全身を使って遊ぶ姿を認めていき、表現する楽しさを味わえるようにしていきます。

今月は、給食の後はブクブクうがい、外から帰ってきたらガラガラうがいなど、使い分けができるよううがいをする意味を改めて伝えようと思います。



くじゃくだよ



どて〜



今月のねらい：うがいをする意味を知り、丁寧にうがいをする



きりんグループ



時間の見通しがもてるよう、時計を見ながら次の活動の時間をその都度伝えるようにしました。子どもたちは、遊びを楽しむ中でも一人ひとりが意識し、時間が来ると保育士の声掛けがなくても自分たちで次の活動に移ったり、友だちに時間が来たことを教えたりする姿が見られました。「すごいね、覚えてたんだね」「教えてくれたんだね。ありがとう」と伝えると、得意そうな表情を見せています。引き続き、丁寧に知らせていきます。

だんだんと異年齢の友だちとも会話を楽しみながらルールのあるゲーム遊びをしたり、チームになって協力したりして遊ぶことを楽しむ姿が増えてきました。1月は友だちと一緒に協力してやり遂げた達成感を味わえるように、フラフープやボールを使ったゲーム遊びを取り入れていきます。

いま
なんじかな～？



今月のねらい：友だちと協力して遊ぶことを楽しむ



うさぎグループ



先月は、みんなで大きなライオンときりんのオブジェを協力して作りました。子どもたちのイメージする動物になるように、体の部分の色の組み合わせを話し合っ一緒に考えました。画用紙や模造紙をたくさんちぎって貼り合わせることを楽しんでいました。「つのはトイレトペーパーのしんかな」「かおはどうしよう」と提案したり友だちに問いかけたりしながら意欲的に作り、出来上がりを楽しみにしていました。手作りの動物すごろくも大きく発展して、子どもたち自身の経験談も入れた面白いすごろくができ遊んでいます。今後も子どもたち主体で、様々な遊びを考える姿を認め、想像力豊かに表現できるようにしていきます。

今月は、食事の際の様々なマナーについて丁寧に伝えて、一人ひとりが意識しながら食事できるようにしていきます。

今月のねらい：様々な食事のマナーを守ろうとする



きりんが
できてきたよ



ぞうグループ



給食やおやつ前に机を拭いたり、部屋を移動する際、靴下入れを持ったりするのが、ぞうグループでの当番の役割です。「きょうのおとうばん、だれかな？」と確認をして、嬉しそうに取り組んでいます。また、次にするべきことを自分たちで考え、行動する姿も増えてきました。「もうすぐかたづけ？」「もうてあらいおわったよ！」と、保育士に確認したり、できたことを伝えたりする様子もあります。今後も進んで取り組めるよう、声を掛けたり一人ひとりの姿を認めたりしていきます。

今月はお正月遊びを子どもたちと楽しみたいと思います。普段の遊びの中で楽しんでいる、コマ回しやかるただけでなく、羽子板や福笑いなどの遊びも取り入れていきたいと思っています。



てつだってあげる



今月のねらい：お正月遊びを楽しむ



新年の抱負



孝一：目指せ、百登山！28年ぶりに登山を再開！

桂子：30分筋トレをし、足腰の筋力アップ

紗羅：ジョギングする習慣を身に付ける

隼人：弾ける童謡のレパートリーを増やす

優花：“菌”に勝つ！！笑顔で過ごす

絵理：趣味を満喫する！ジム・ゴルフ・外食...

実季：週2日以上のお炊きと貯金を頑張る

美奈：ウォーキングを継続する

絵里香：時間に余裕をもって生活する

真視子：スマホを見る時間を減らして、本を読む

洋子：ココロも家もスッキリに一日一捨て実行

理恵：健康第一！運動不足・肩こりを解消する

梨紗：一年中体調を崩さず健康に生きます！

麻里：意欲遣いせず、毎月貯金をする

あゆみ：健康な体で元気いっぱい過ごす

啓子：カフェ巡りをして、自分時間を満喫する

七重：毎日腹筋をして美ボディを目指す！

愛朗：心に余裕を。柔軟な視点を

颯太：よく見てよく学び、楽しい一年にする

童：毎日運動し、体力づくりをする

萌：料理のレパートリーを増やしたい

今年もよろしくお願ひいたします

《今年（2025）私がしたいことTOP3！》

新年が明けて、身も心も新しく入れ替わる時期ですが、2025年になって私がしたいことや、今年中にやっておきたいことを考えてみたので、紹介したいと思います！



1. 美肌になる（憧れの韓国肌へ）
2. 声帯ポリープ摘出手術
3. ワンオクライブ参戦

堂々の1位に輝いたのは、美肌になることです。昔から疲れが肌に出やすく、ニキビが天敵になっている私にとっては、お肌のケアは気が抜けません。憧れの韓国肌を目指すため、今はニキビトラブルを相談、解消するのが精一杯の日々。（先は長くなりそうです…）

2位にびっくりされた方もいると思いますが、なんと「手術」という結果になってしまいました。社会人になってから喉が弱くなり、喉の風邪を引きやすいという悩みを抱えながら保育士として普段楽しく子どもたちと歌をうたったり、話をして声を出したりしているうちに、なんと声帯にポリープが！（ハスキーボイスになりました）声が上手く出せなくなって悲しい一年だったので、そのまま放置せず直したいと思い、覚悟を決めることにしました。頑張って直します。

1位と2位は、長期的な目標や挑戦になってしまっていますが、勿論それだけではありません！今、私が推しているアーティストNO.1ワンオクのライブ参戦もしたいことのひとつです。Takaの歌唱力を近くで聞きたい、生で見たいという気持ちが抑えられません！今年は絶対に行きたいと思います。（当たりますように…）

今年1年も、山あり谷ありで苦難もありそうですが、モチベーションを上げて駆け上がっていきたいです。皆さんも、素敵な1年にするために、新年の目標や挑戦について家庭で話し合う機会を作り、最高の2025年の幕開けにしていってください。

白濱 優花